

## Y. Z. 社会システム学科・3年次

### I. 留学レポート

#### ① 協定留学を目指した理由（きっかけ、留学を考え始めた時期）

韓国語を学ぼうと思ったきっかけは、小学生の時に初めて韓国ドラマを見て韓国語の発音に魅力を感じたからでした。大学に入り第二外国語の授業で韓国語を本格的に学び始め、大学一年の終わりごろから韓国に留学したいと考え始めました。また、実際に現地の大学生と話して日本人と韓国人の価値観の違いや、韓国人が日本の文化をどのように見ているかについてもっと深く知りたいと思いました。

#### ② 留学を目指してから出願までの学習方法（役に立った教材など）

留学を目指した当時の私の韓国語レベルでは留学条件の韓国語能力試験 3 級に合格するのは難しかったので、必死に勉強しました。大学二年の夏に短期の語学研修に参加したり、参考書で勉強するのはもちろん、ドラマを見たり韓国人ともメールでやり取りしていました。

#### ③ 留学決定から出発までの準備期間（語学勉強、ビザ申請手続きなど）

留学が決まってからもドラマやメールでのやり取りを通して勉強を続けていました。ビザの申請は、大阪の大使館に手続きをしに行きました。必要な書類についてインターネットで調べたのですが、そこに書かれていない書類も準備しないといけなくて、何回も行き手間がかかりました。

#### ④ 現地到着後（空港からの移動手段・時間、オリエンテーション、諸手続きなど）

前年度まではソウル女子がタクシーの迎えを出してくれていたのですが、今年度はそれがなくて、空港から出ているバスとタクシーを使って大学まで行きました。空港バスとタクシーを使えば空港から大学まで二時間程度で着きます。大学まで着くと大学の門で日本人担当の人が待っていて、寮まで案内され寮内の簡単な説明をしてくれました。寮のオリエンテーションも数日後にあり、寮での注意事項などの説明を受けます。外国人登録証は、日本人担当の人が手続きをしてくれるので受け取りに行くだけでした。3 月下旬ごろに取りに行くと、それから銀行の口座を開設したり携帯を買いに行きました。語学堂は 3 月中旬から始まるのですが、それまでは時間があつたので生活用品を揃えたり、友達と韓国のいろんなところに遊びに行っていました。

#### ⑤ 語学研修期間

##### ◆ 語学研修先の施設・環境について

授業は主に国際教育館か 50 周年記念館で行われ、国際教育館までは林を抜けて行かないといけないので朝は少し大変でした。50 周年記念館には、1 階にスタバやパン屋、コンビニがあり、朝や授業の合間に買いにいけて便利です。

##### ◆ 授業内容、課題、試験

語学堂の授業は毎日 9 時～13 時の 4 時間行われます。初めは語学堂のクラス分けテストが

あり、それによって1～6級までのクラスに振り分けられます。私は春学期に3級、夏学期に4級を受講しました。3級の授業では課題は比較的少なく、単語テストや二人一組で習った文法を使って会話を作るという課題があります。4級では韓国で就職することを想定して模擬面接をしました。定期テストは、中間試験と期末試験があり、内容はリスニング、読解、文法、筆記、面接テストです。日々こつこつ予習復習をしていればテストもそれほど難しくはないと思います。

## ⑥正規科目履修期間

### ◆大学の施設・環境について

大学内には郵便局や銀行、コンビニ、カフェなど様々な設備が整っていて特に不便なことはありませんでした。春には桜、夏には新緑、秋は紅葉、冬は雪、と四季の景色もきれいです。学校の近くには食堂やミニスーパーやカフェがあるので、それほど不自由には感じませんでした。しかしやっぱり田舎なので、ソウル中心部まで行くのに1時間くらいかかるのと、駅まで距離があるのでバスに乗って行っていました。

### ◆履修科目

留学前に前年度のシラバスを見て、学年主任の先生に読み替えの相談をしながら履修科目を決めました。春学期から正規科目を受講するのは当時の私の韓国語レベルでは難しいと思い、秋学期からゼミ科目を含めた4科目を受講しました。聞き取れなかったりわからない単語も多かったので、録音してあとで聞いたりして復習していました。韓国人にまじって授業を受けるのは大変かもしれませんが、実際に話し合ったりすることで韓国や韓国人についてより深く知れたり、学ぶことも多いです。ディスカッションやプレゼンテーションのある授業を受けてみることも貴重な経験になると思います。

#### ・中級韓国語

これは語学堂の中級レベルの学生が受講できる授業です。授業では、文法問題を解いたり昔話を要約したりしました。試験がありますが、授業で学んだことを予習・復習していれば大丈夫です。

#### ・現代人と精神健康

自分の性格を分析して書くレポートと論述試験がありました。教授が授業をするというよりも、生徒が主体的に行う形の講義でした。性格類型診断をして似たような性格の人たちと話し合いをしたり、自分で書いた絵を通して気持ちを分析したりしました。

#### ・映画で見る社会、人生そして愛

毎週映画を見る授業です。洋画だけでなくヨーロッパ映画、韓国映画、邦画などジャンルはさまざまでした。韓国語字幕を追うのは大変でしたが、すばやく読んで理解する力がついた気がします。定期試験があり、短答と論述でそれぞれの映画が持つメッセージや内容についてでした。

#### ・韓国語と韓国文化

韓国の文化を外国人に教えるための授業で、内容は韓国の衣食住、文学、芸術など韓国について幅広く学びました。毎週一人ずつプレゼンテーションがあり、私は日本の衣食住についてのプレゼンテーションをしました。大勢の韓国人の前でプレゼンテーションをするのは緊張しましたが、貴重な経験になったと思います。

#### ・死と宗教

幸福な死、脳死問題、キリスト教における死、など死と宗教に関する授業です。先生の話がとても興味深くて面白かったです。週ごとに課題となる映画があり、その中から自分の興味がある映画を見てレポートを書くという課題がありました。教科書の内容を出題する小テストも 2 回ほどあります。定期テストはほとんど短答式で、暗記していれば解けるようなものでした。

#### ⑦クラブ、課外活動、ボランティア活動

特にしていませんでした。

#### ⑧現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

留学生は基本的に国際生活館という寮で生活します。夏休みなど、休みの期間はシャロムハウスというところに引っ越しをします。これは、国際生活館に住んでいる外国人が一斉に引っ越すのと、学期ごとに毎回引っ越さなければならないので少し大変でした。国際生活館は二人部屋です。私は韓国人ルームメイトを申請して、春学期、秋学期とも韓国人と一緒に住んでいました。韓国語を使わないといけない環境だったので、韓国語に接する時間が多くてよかったと思います。寮の門限は 11 時半で、毎晩点呼があります。寮の壁は薄く、廊下で普通に話しているだけでも会話が聞こえるので、夜ドライヤーを使ったり夜遅くまでラウンジで話していたりしたら先生に怒られることもありました。シャロムハウスでは 2 人部屋か 4 人部屋が選べます。私は韓国人 2 人、日本人 1 人と一緒に申請して 4 人部屋で住みました。国際生活館ではトイレやシャワールーム、洗面所が共同ですが、シャロムハウスでは部屋ごとに設置されています。食事は、主に食券を買って食堂で食べていました。食堂で朝、昼、晩と食べることができ、食券は学期始まりに購入できます。春学期・秋学期には 120 枚か 160 枚を買えます。余った分は手数料を引いて返金してもらえます。通学時間は、寮が校内にあり 10 分くらいで着くので便利です。

#### ⑨長期休暇の過ごし方

用事で夏に一週間日本に帰国しました。とはいっても夏休みの間も語学堂の授業を受講していたので休みはほぼありませんでした。

#### ⑩留学期間中の就職活動の取り組み

特に何もしていませんでした。

## II. 留学の感想

#### ①留学中楽しかったこと、最も思い出に残っていること

寮生活が本当に楽しかったです。韓国人、日本人の友達と夜遅くまで話したり、毎日が

思い出です^^ その他にも今まで行ったことのないところに行って遊んだり、おいしいものをいっぱい食べたり、韓国人の友達と江原道に旅行に行ったり、友達の家に泊まりに行ったり... 留学の一年間にあった出来事は、どれも忘れられない大切な思い出です。留学したからこそその素敵な出会いもたくさんありました。

## ②留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

最初のころは本当に、韓国人の子と話していても自分の思ったことをうまく伝えられないもどかしさと悔しさでいっぱいでした。あと、寮で前期に私の住んでいた部屋の隣がトイレで、流水音やドアの音がうるさくて夜中や試験前は苦労しました。寮の壁が薄いので、小さな音もすごく響いて聞こえます。

## ③文化・習慣の違いなどで驚いたこと

韓国には数回行ったことがあったので、カルチャーショックというほどの驚きはありませんでした。ただ韓国人とお酒を飲む機会があったのですが、韓国は本当にお酒をよく飲む文化だと感じました。お酒の席でのゲームも多くて驚きました。

## Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

### ①留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は、四季折々の景色がきれいだということ、寮が校内にあるので通学に時間がかからないこと、あとは学校内に銀行や郵便局があるので便利でした。悪かった点は、田舎なので学校近くにそれほど遊びにいけるようなところがないことです。

### ②日本から持って行って、特に役立ったもの

パソコンです。寮にもパソコンはありますが、やっぱり使い慣れた日本のパソコンを持っていくと便利です。あと証明写真を数枚と日本の薬を持っていくといいと思います。それとやっぱり長期で住むとなると日本のお菓子や食べ物も恋しくなるので、送ってもらったりしていました。

### ⑤ 学力の向上等、留学の成果

最初は自分の思っていることもうまく伝えられず、相手の言っていることも聞き取れなくてもどかしさでいっぱいでした。私より韓国語がうまい子が周りにいたりしてその実力の差に落ち込むこともあったし、比べられたときは特に悔しかったです。けれど、その悔しさをばねにして自分なりに勉強をがんばり、間違ってもいいから自分の伝えたいことを話すように努力をしました。そうして友達と話したり勉強したりしているうちにだんだん語学力も上がり、最終的には留学前に立てた目標である、韓国語能力試験の高級合格を達成することができました。外国人だから間違えるのは当たり前で、大切なのは間違えることを怖がらずに声に出して話してみることだと思います。そして、この韓国という国に一人で来て生活していくうちに、今まで気が付かなかった自分の良い面も悪い面も見えてきて、この10か月の留学生活は自分自身と向き合う時間にもなったと思います。

### ⑥ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は語学面だけでなく精神面でも自分自身成長できる機会になると思います。10 か月間、つらいことや楽しいこといろんなことがあったけど、どれも留学したからこそできた良い経験だと思うし、得られたものが多かったです。何より留学したからこそその素敵な出会いがたくさんありました。留学期間には限りがあるので、留学中に何がしたいか、何を学びたいか、どこに行きたいかという計画や目標を具体的に事前に立てておくと、留学生活がより充実したものになると思います。留学は今しかできないことだし、しようかどうか迷っているならぜひ挑戦してみてください。応援しています！

この写真は、帰国前に寮の友達がお別れパーティを開いてくれたときのです。友達と毎日過ごした寮生活は本当に楽しかったです。



